

# 作新学院高等学校同窓会報

発行 作新学院同窓会 〒321-0027 宇都宮市埴田1-3-27 船田教育会館内 TEL 028-621-9083 FAX 621-3941



硬式野球部、前人未到の『4夏連続』甲子園出場。



## 同窓生の皆様へ

❄️ 一校一家

会長 安藤 寛樹  
(昭和45年卒)

「一校一家」この言葉は自分の心の中に今でも残っている言葉です。

作新学院高等学校同窓会の皆様こんにちは、日頃同窓会活動にいろいろご協力頂きありがとうございます。

昨年の同窓会活動を振り返りますと、多くの事業をさせていただきました。春には新潟の魚沼に研修、夏は甲子園球場に4期連続出場の硬式野球部の応援に行ってきました。中村キャプテンの選手宣誓、大役を果たしてくれました。

また学園祭においては同窓会ブースを設け、行列ができるほどの賑わいを見せてくれ、11月には5回目となるホームカミングデー“大人の作新祭”を行い、大勢の参加をいただき、青年部による“えっさっさ”で締め

てもらい大いに盛り上がりました。実行部隊となった青年部・教員の方々大変ご苦労様でした。

また去年より立ち上げた、部活動の“OB・OG会”、若手同窓生の“異業種交流会”など作新の風を吹き起こしています、また40年近く続いている恒例の、新年成人祝賀会には400名近くの新成人が集い、先生方との交流も出来、楽しいひと時を過ごしました。

いろいろな事業を通し同じ門をくぐった仲間が一校一家の精神のもと、助け合いながら情報交換をし、研鑽出来る同窓会になれば良いと思っています。

今年には作新学院創立130周年の節目の年、皆様のご協力をお願いいたします。

最後に今後みなさまの益々のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。





## 文武両道の作新学院

作新学院 院長 船田 元

作新同窓会の皆様、如何お過ごしでしょうか。皆様のお陰で作新学院は今年創立130周年を迎えます。この節目の時を記念して、一の沢キャンパスの入り口に「メインゲート」の建設を始めます。しかしただのゲートではなく、学院内外の交流の場や生徒たちの自主学習室、生きた英会話教室や食育に重きを置いたカフェダイニングなど、作新が取り組む活動のシンボルとなる、多目的建造物を目指します。

また大学進学実績も国公立大学合格者80人超を毎年記録し、年々アップしていますが、130年を契機に、さらに超難関国公立大学を目指す「トップ英進部」を開設して、宇高宇女高に次ぐ成績を上げたいと思います。高校の制服も10数年振りにフルモデルチェンジして、キャメルゴールドの洗練されたデザインにかわります。作新学院は130年を契機に、全てにおいてグレードアップして行きます。

さて最近の運動部の活躍は目覚ましく、硬式野球部の甲子園4夏連続出場や、インターハイや国体での弓道、水泳、ボクシング、自転車、パワーリ

フティングなどの優勝は、特記すべきでしょう。これは「常に新しくあれ」という作新民の精神と、「最後まで決して諦めない」という、先輩から受け継がれた伝統の成せる技に違いありません。OBOG会の活動の活発化も、大いに後押ししていただいています。

同窓会の皆様は少なくとも3年、あるいはそれ以上作新の制服を着て通っていただきました。130年の長い間、皆さんお一人おひとりの3年が、ちょうど駅伝の襷のように順番に切れ目なく、バトンタッチしてきたのです。気の遠くなるような話ですが、同窓会の皆様がそれを着実に実行されてきました。

これからの150年、200年に向けて、作新学院は存在し続ける義務があります。そして同時に、同窓会の皆様にはこの襷を次のランナーに、確実にバトンタッチして行く役割をお持ちです。超少子高齢化や不確実な未来に向かって、学院と同窓会がともに手を携え、作新民の精神を盾にして突き進んで行けば、自ら道は開けて行くと信じます。

今年もどうぞよろしく願いいたします。

### 学院近景







## 今こそ「作新ルネッサンス」を

作新学院 理事長 船田 恵

皆様方のお支えにより、作新学院はいよいよ本年創立130周年を迎えます。日頃の温かなご支援、ご指導にあらためて心より御礼申し上げます。

学院では今、船田兵吾先生による建学の精神に立ち帰らんと“作新ルネッサンス”を合言葉に、新たな挑戦に向けた準備が各所で進行中です。

まずは、「トップ英進部」の創設です。

明治18年、文明開化華やかかなりし頃、本学院は世界に知を求めんとする同志が集う英語塾として誕生しました。「作新」という校名は、かの勝海舟により命名されたものですが、そこには真の「グローバルエリート」として、時々刻々変わりゆく世の流れにキャッチアップできるよう、日々研鑽を怠ることの無きようにという訓戒が込められています。

トップ英進部は、こうした作新の創立理念を最もよく体現すべき部としてスタートします。これまで英進部が築いてきた県内トップクラスの進学指導実績を基に、SSH(スーパー・サイエンス・ハイスクール)としての高度な理数科教育プログラム、欧米トップ大学での海外研修や国際交流、多様な社会貢献活動などを実践することにより、単なる偏差値的トップ集団ではなく、世界の舞台で通用する地球的視野と教養、そして行動力を涵養し、学院のスローガンである“世界を変える、未来をつくる”人材の育成を目指しています。

「制服」も一新されます。

歴史と伝統に根ざした品格や学生らしい清楚さはそのままに、現代を生きる高校生が「こんな制服でキャンパスライフを過ごしたい!」と思うデザインを実現しました。

毎日身に付けるものだからこそ、通常の制服

では使用しない上質な生地を採用しています。豊かな感性を育むには、成長期から本物に触れさせることが一番、それが学院の信念だからです。しかし、価格は従来通りに留めました。

胸元を飾るエンブレムには、文武両道をあらわす「ペン」と「剣」、環境保護に取り組む学院として緑の「地球」、そして“愛の学院”を表す真紅の「ハート」が掲げられています。

学院の校舎も、130周年を機に大きく進化を始めています。

新たな正門「メインゲート」を擁した総ガラス張りの記念棟を、大谷街道と作新通りの角に設置。棟内には1階にカフェ・ダイニング(学食)やコンビニ、2階に最新機器を設置したランゲージ・ラボや学習室を配します。

メインゲートをくぐった先には、エディブル・ガーデン(食育菜園)を計画中です。子どもたちが自分で育て、収穫した野菜や果物を、ダイニングで自ら調理し友達同士、時には家族を招いてともに食す。同窓会や保護者の皆様向きに料理教室も開催したいと考えています。

カフェダイニングは、週末には同窓会の皆様にも是非活用いただき、ご披露宴やクラス会など、毎週末が作新のホームカミングデーとなることを願っています。

完成にはまだ数年を要す見込みですが、現在、エコ壁画で囲われている敷地に、作新が目指す“地球の未来”を具現化する空間が誕生する予定です。

記念棟は、作新の知恵、技術、情熱、志など文字通り総力を結集することができて初めて完成いたします。同窓会の皆様からの熱いご支援を、心からお願い申し上げます。

### 学院近景







## 夢の扉を開こう

高等学校 校長 田村 利夫

同窓会の皆様には、日頃から学院の教育に深いご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。また、新しく同窓会員になられた皆様におかれましても、一校一家の教育方針と『作新民』で培った精神力をさらに磨いて、変化の激しい時代の中だからこそ有用な人材として、社会でご活躍されることを期待しております。

在校生たちは勉学や部活動に熱心に取り組む、早朝から放課後遅くまで活気に満ち溢れた日々を過ごしています。夏から秋にかけて実施いたしました高校の体験学習等には、6,000人を超える中学生やその保護者が参加し、県内外で益々作新学院の教育が評価されております。

これからも私学の雄として、伝統を重んじつつ学校改革を今まで以上に進めて参ります。創立130周年を迎える来年度は現在の英進部の学力最上位層を対象に、県内トップの学力を誇る超(トップ)英進部を創設し、東京大学・国立大学医学部等の最難関大学進学を目指します。制服も一新されます。作新学院では従来から文・武・社会貢献を三本の教育の柱としております。平成26年度大学入試では国立大学医学部医学科4名の合格を含め78名の国公立大学合格者を輩出することが出来ました。部活動におきましては硬式野球部が栃木県史上初の4季連続夏の甲子園出場を果たすなど、27の運動部・文化部がインターハイ、国体、全国大会に出場し、各地で「作新の風」を吹き起こし輝

かしい成績を取めました。文武ともに、限界まで挑戦した作新スピリッツの成果であると誇りに思っております。また、社会貢献活動では東日本大震災の後から全校挙げて取り組んでいる被災地支援活動が認められ、茗溪会(筑波大学のOB会)より顕著な社会貢献活動を行っている団体として「茗溪会顕彰」を受賞いたしました。4年目を迎えたSSH(スーパーサイエンス)活動も着実に成果をあげており、この活動を通して得られた科学分野の知識を基に今後専門分野の研究に進み、国内にとどまらず世界を視野に入れたフィールドに立ってけると期待しています。

英進部・総合進学部・情報科学部ともに学年・クラス懇談会を年に数回実施し、在校生の保護者の皆様と懇談を持つ機会を増やしております。今年度からPTA活動も従来の宇都宮地区を中心とした10支部の他に、県内7ヶ所(西那須野・さくら・真岡・小山・壬生・鹿沼・日光)において地区別保護者懇談会を実施いたしました。今後も保護者の皆様との連携を図り、充実した学院生活を送れるよう教員一同情熱をもって生徒と向き合っていく所存です。

最後になりますが、130年という歴史と伝統を守ると同時に、未来への夢を実現する架け橋となる組織として後輩を見守りお導きいただいている作新学院同窓会の益々のご発展を心から祈念申し上げましてご挨拶といたします。

### 学院近景







広報部副部長 荒井 博幸 (平成2年卒)

平成26年6月6日(金)宇都宮市内ホテルニューイタヤに於いて、船田元学院長、田村利夫校長など多くの来賓をお迎えし、同窓会会員80名が参加して開催されました。総会では、三村副会長(昭和35年卒)の開会の挨拶で幕開け、学院歌を全員で斉唱。

この後、本澤崇(平成2年卒)、山形哲也(平成10年卒)を議長団に選出し議事に入りました。

- 第1号議案 平成25年度事業報告並びに決算について  
平成25年度基本特別会計報告について
- 第2号議案 平成25年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について
- 第3号議案 同窓会基金取り崩しについて
- 第4号議案 その他



安藤会長(昭和45年卒)が、青年部の活躍でおとなの作新祭が成功したお礼と、若手同窓生を集め同窓会活動に力を入れると抱負を述べました。

来賓を代表して船田元作新学院長が挨拶。一の沢キャンパスにおいて、創立130周年記念プロジェクトでドリームキャンパスプロジェクトを進めていると報告がありました。

第1号議案から第4号議案まで慎重審議が行われ、それぞれ原案通りに選任されました。最後に福田副会長(昭和31卒)の閉会の言葉で定時総会が終了しました。

総会終了後の懇親会では、松久武校長代理よりご挨拶をいただき、大淵皓之前会長の乾杯のご発声で懇親会が開催されました。今年は、フルーツとギターの兄弟ユニット「ねこカフェ」の生演奏を聴きながら、久しぶりに会った先生や級友との和やかな時間を過ごすことができました。大いに盛り上がった懇親会も終了し「また来年!」との声を掛けあい笑顔で帰宅することができました。

**(有)川口写真館**

代表取締役 川口 修一 (昭和44年卒)  
宇都宮市北一の沢21-19 ☎028-622-4641

**(有)朋友塗装工業(建築・塗装・吹付工事)**

代表取締役 小野 朋之 (昭和61年卒)  
宇都宮市峰3-31-30 TEL 028-634-7082  
FAX 028-639-7220





広報部会長 渡邊 幸雄 (平成4年卒)

平成26年11月15日(土)、卒業10年目の卒業生を中心とした、恒例行事の「第5回おとなの作新祭 ～集え！日本最大の同窓会」が開催されました。開会式では、船田元学院長、松久武校長代理のご出席を賜りお祝いの言葉をいただきました。

今回も同窓会と学院合同での開催となり、第一部では昨年に続き、「ねぎらい」と題して、本年度活躍した各部活動の現役生徒の皆さんを招いて花束の贈呈やひとことコメント等をいただき、現役生徒との距離を近づけることができました。

続く第二部では、今年も「DJ Kei」さん(昭和59年卒)のスムーズな司会進行で盛上げていただきました。

懇親会の乾杯の発声は10年会を代表して伊藤洋介さん(平成16年卒)の元気な音頭でスタートしました。今年のイベントは、女性ダンスチーム「STK37」！切れのあるダンスパフォーマンスで会場大盛り上がりとなりました。

最後に、おとなの作新祭を一から作り上げた同窓会青年部恒例の「エッサッサ」が披露された。

今年も、大勢の同窓生とその家族に出席していただき、心から感謝しています。また、「第5回おとなの作新祭」を半年以上かけて作り上げた青年部に昨年同様敬意を表します。

時代の流れとともに、学院の運動会でエッサッサが

披露されないのは寂しい。しかし、歴史と伝統ある作新学院の「エッサッサ」が同窓会青年部を通じて継承されることに誇りを感じます。「がんばれ！青年部！」



作新学院高等学校同窓会では、「facebook」(フェイスブック、現在600名を超えるお友達)を運用しております。同窓会の活動や学校の行事、またその他このFBをぜひ有効活用いただければ幸いです。

今すぐご登録を！



<http://www.facebook.com/ogob.sakushin>

イマイズミ (宝石・貴金属)

<http://www.imaizumi-j.com/>

代表取締役 今泉 臣夫 (昭和37年卒)

宇都宮市仲町1-13 ☎028-622-3573

株式会社

Roo 企画装飾

代表取締役会長 関 正三 (昭和24年卒)

〒321-0905 宇都宮市平出工業団地38-32

TEL 028-662-6551代 FAX 028-663-3579

うつのみや  
名物

野菜タップリ! グルメも納得!  
新三の薄皮餃子

『割烹弁当』の新三

代表取締役 鈴木 郁夫 (昭和24年卒)

宇都宮市今泉3-12-30 ☎028-622-8337

総合建設業  
株式会社 鱒淵建設

代表取締役 鱒淵 孝男

建築部 小牧 英夫 (昭和56年卒)

宇都宮市中央3-15-13 ☎028-633-3261



文化厚生部

新潟中越地方  
史跡めぐり研修旅行

文化厚生部会長 遠藤 盛 (昭和58年卒)

平成26年7月6日(日)文化厚生部主催により、新潟中越地方の史跡めぐり研修旅行を行いました。当日は、参加者15名が作新学院に朝7時集合。バス1台にて一路中越方面へ出発しました。

鹿沼ICから北関東自動車道路と関越自動車道経由し、約3時間弱バスの旅を楽しんだ後日本三大溪谷の清津峡に到着。国立公園内にあるこの清津峡は切り立った断崖の下を清津川が流れています。川沿いに、片道750Mもあるトンネルを作って

4か所の展望台からその景観を見ることができるよう工夫がなされています。溪谷の壁面は溶岩流が冷えて縮む際にみられる柱状節理と呼ばれる規則正しい柱状の亀裂でその縞模様が特徴です。地球のダイナミックな躍動感と清らかな清流。木々の緑が相まって見事なコントラストがそこにみられます。

溪谷美を堪能した後、新鮮な海の幸が寺泊・佐渡・新潟の漁港より毎日入荷される魚野の里で昼食をとりました。魚沼産のコシヒカリと甘海老に



舌鼓を打ち、今回の新企画である特産品のお土産セットを皆さんにお配りしました。

昼食後は一路関興寺へ。鎌倉の円覚寺派に属す臨済

宗(禅宗)のお寺でその昔、上杉氏家督相続争乱に巻き込まれ小田原北条軍に火をかけられ、焼き討ちにあい一山焼土と化したそうです。しかし、火災から大切な経典を守ったことで、以来「関興寺にお参りして有難い味噌を頂きましたか？」の問いかけの言葉として「関興寺の

味噌なめたか」の言葉が後世の人々に言い伝えられるようになりました。

最後の研修先は塩沢宿。約300年前、三国街道(日本海側と江戸を結ぶ輸送路)沿いの宿場町として栄えた旧塩沢町の中心市街地の歴史のある通りで牧上通りと呼ばれる美しい街並みを見学しました。特に感じたのが昔の景観を保つわけかどうかわかりませんが、電信柱と電線がない街並みがこんなにも青い空にくっきりと建物が浮かび上がるものかと知らされました。

今回の研修旅行は地球の躍動感に触れ、日本の歴史を含め地産の宝を再発見・体感できた旅ではなかったかと自負しております。

## 仲田総業株式会社

<http://www.nakada.tv>

専務取締役 仲田陽介 (平成3年卒)

宇都宮市築瀬町2520-4 ☎028-635-2151

## (株)安藤設計(一級建築士事務所)

<http://ando-sekkei.jp/>


代表取締役会長 安藤英夫 (昭和43年卒)

代表取締役社長 安藤寛樹 (昭和45年卒)

取締役総務部長 安藤篤史 (平成9年卒)

宇都宮市山本1-3-14 ☎028-625-2875

## 小林建築設計事務所(一級建築士事務所)

代表 小林 基 (昭和48年卒)

宇都宮市宝木町2-944-13 ☎028-652-1770

m-koba@moon.ucatv.ne.jp

1952年創業 あなたの街の「ぜいりし」さん  
尾花税務会計事務所

〒322-0029 鹿沼市西茂呂3丁目19番地2

(「ニッパ」鹿沼西茂呂店)となり、茶色の2階建てが目印)

ご相談専用ダイヤル ハロー オバナ

0120-806-087







## 第2回 若手異業種交流会

交流会実施委員長  
本澤 崇(平成2年卒)

第2回目の若手異業種交流会の開催の報告をさせていただきます。皆様は作新学院高等学校を卒業する際、同時に同窓会に入会していただいております。しかしながら、卒業後の交流が少なく同窓会の活動を認識していない卒業生も多く見受けられます。また、卒業生は約12万人を越え、県内は勿論、日本一であります。その様な状況ですから、作新同窓生であることすらも知らずに日々の付き合いをしていることを多々見受けられますし、何処かで行き会おうと、「作新卒?」のような会話は日常茶飯事です。

これらを少しでも打開し、作新の風を吹きおこすため先ずは卒業生の裾野を広げようと、去る平成26年8月7日、ホテル丸治にて船田元学院長、安藤会長と共に60数名で開催いたしました。

交流会では、会の趣旨説明に始まり、同窓会活動を知っていただくために、現在の組織「総務企画部」・「組織財政部」・「広報部」・「文化厚

生部」・「青年部」という5部の活動や、5回目となる「大人の作新祭」の報告など、同窓会を周知いただく構成としました。

その後この交流会の可能性や動向を見出すために、参加者の考えや想いを自己紹介を兼ね、学生時代の思い出と共に全員にコメントを頂きました。会は勢いがあるなか進行し、卒業生の発言は力みなぎるものであり、改めて作新の力強さを感じられる有意義な時間であったと思います。

今回で2回目ということもあり、初回より参加者が約倍増となり、会の目的である同窓会の周知に貢献できていると感じるところもありますが、まだまだ卒業生は数多くおります。これからも様々な可能性を広げるため、今後の開催も検討しております。その際は、これまで同窓会と関係が薄い卒業生等にお声掛けいただき、是非ともご参加くださいますよう宜しくお願いします。

### Beams 高精細印刷 伴印刷株式会社

代表取締役 伴 清 (昭和35年卒)  
常務取締役 伴 誠 (昭和62年卒)  
生産管理部長 伴 康行 (平成7年卒)

宇都宮市栄町6-10 ☎028-622-8901 FAX 028-622-4525

### 花と園芸

### (株)藤野グリーンセンター

代表取締役 藤野 善勝 (昭和35年・商3回卒)  
宇都宮市さつき2-3-5 ☎028-653-8660

### 医療法人(社団)荒川歯科クリニック

理事長 荒川 敏明 (昭和48年卒)  
宇都宮市西川田本町4-1-3 ☎028-645-5072



(総合建設業)

### 中村土建株式会社

代表取締役社長 渡邊 幸雄 (平成4年卒)  
宇都宮市大曾4-10-19 ☎028-622-6581



## 東京作新会の活動

東京作新会会長 君島 孝夫 (昭和40年卒)

東京作新会は東京近郊にお住いの作新学院同窓生が年に一度集り、親睦を深め作新学院の文武の活躍と共に船田 元先生の教育活動、政界でのご活躍に誇りと希望持って応援しております。

昨年は船田 元先生の観桜会と東京作新会総会が重なりましたが、それでも例年より4名多い会員の参加を頂き、新橋の新橋亭に元氣なお姿でお集まり頂きました。

先輩方の懐かしい作新学院生活を聞くこともできましたし、出席できない会員の皆様からは近況報告が数多く寄せられました。

今回は8回卒業生の吉澤秀人さん(77歳)が川崎区の人物風土記2014年度「かわさきマイスター」に認定されましたので、ご紹介させていただきます。

吉澤秀人さんは1965年川崎で知人の工場の一 corner を借りて、金属切削加工業をスタートさせました。近所の町工場に出かけては、多くの技術を身に付け、精密機械や医療機器に使われるネジやワッシャーを制作していました。直径0.5ミリという極細の凹凸状に加工するなど、長年(約50年)の経験と技術が評価



吉澤秀人さん(後列左端)

され「かわさきマイスター」に選ばれ表彰されました。心からお喜び申し上げます。

今年も作新学院の卒業生の方(東京近郊にお住まいの方)何時でも入会歓迎します。「ご連絡下さい」

### 東京作新会 世話人

連絡先	氏名	電話番号
	君島 孝夫	☎0123-57-7811
	鶴巻 克雄	☎0424-21-0177
	相場 啓介	☎03-5453-1616
	北村 文子	☎03-3918-9904
	海藤 政子	☎03-3392-7032
	落合 明子	☎048-269-2020

## 作新学院二里山会と同窓会との係わり

英進部学務主任 渡邊 毅 (昭和50年卒)



作新学院高等学校同窓会の皆様におかれましては、ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、二里山会とは作新学院の幼稚園・小学部・中等部・高校・大学・事務局に勤務し、作新学院同窓生である教職員で構成されている親睦団体であります。現在の形になって約20年ですが、その歴史はさらに古く、諸先輩方に伺ってみても、いつからであるか明確には分かりません。作新学院が今年で創立130周年ということを考えれば、いたし方ないのかもしれませんが。現在、二里山会の会員数は143名で教職員全体の4割強を占め、昨年度その会長に就いた重責を今更ながら感じている次第です。

高等学校事務局(一の沢キャンパス)に勤務する二里山会の会員は、様々な場面において作新学院高等学校同窓会との連携をとっています。例えば今回で5回目を迎えた「おとなの作新祭」では、学校側からの企画委員・実行委員を二里山会の会員で固め、同窓会側の幹部・青年部との会議を重ね、盛況のうちに11月に実施されました。同窓会青年部の大活躍もさることながら、互いの協力無くしては年々レベルアップしている状況は実現しなかったように感じています。

私共も、微力ながら同窓会の一員として、その活動に少しでも貢献できればと考えております。ご一緒できる機会を楽しみにしております。



今年成人を迎えられる卒業生

英進部

# ご成人おめでとうございます。

お久しぶりです。この原稿を考えながら、卒業アルバムを捲っています。早速飛び込んできた懐かしい笑顔。時を遡り、記憶が蘇ってきました。皆さんが英進部を卒業されて、もう2年。時の流れは早いものですね。

さて、二十歳の頃は、人が最も成長する多感な時期だと思います。自分では気が付かなくとも、高校時代とは比較にならない、日々の経験や見聞から、多くのものを吸収し、あの頃とは違った大人になっていると想像しています。成人という節目を良い機会として、久しぶりに学校に足を運んでみませんか。教え子の生長した姿を見るのは、教師の大きな喜びの一つ。当時の3年担任団一同、皆さんのホームカミングを楽しみにしています。

平成24年度 英進部 第3学年主任 菅谷 充司



平成24年度卒業時の第3学年担任の先生方

手塚・吉高神司法書士事務所  
司法書士 吉高神渡 (昭和45年卒)  
宇都宮市小幡2-6-10 ☎028-627-0521

作新学院高等学校 P・T・A  
平成24年度優良PTA文部科学大臣賞 受賞  
会長 片柳二郎  
宇都宮市一の沢1-1-41 ☎028-648-1811

元気の里  
(特別養護老人ホーム・ケアハウス)  
施設長 角田充由 (平成5年卒)  
宇都宮市幕田町1456-1 ☎028-655-2611

(有)坂本商店(業務用青果・漬物製造卸)  
代表取締役 坂本 昭 (昭和31年卒)  
宇都宮市京町3-4 ☎028-633-4003  
FAX 028-632-9148





平成24年度卒業時の第3学年担任の先生方

今年成人を迎えられる卒業生

総合進学部

**ご成人おめでとうございます。**

卒業生の皆さん成人おめでとうございます。早いもので卒業して2年が経ちました。1年生の時に未曾有の災害となった東日本大震災を経験し「日常」の有難さを痛感した君たちは（ボランティアなど）さまざまな活動を通して大きく成長していきました。スポーツでは、全国優勝や入賞を果たした者が数多く出ました。また、学業面でも国立大学や、難関私立大学にも数多く合格し「文武両道」を見事に成し遂げてくれました。

皆さまは、このように苦しい時を乗り越えて、困難に打ち勝ち、結果を残してきました。今後は、自覚と誇りを持って「社会の中核」となって活躍されることを期待しております。

平成24年度 総合進学部 第3学年主任 川上 正勝

総合建築資材商社

**株式会社 白木屋**

代表取締役 黒崎 裕康 (平成3年卒)

宇都宮市天神1-1-33 ☎028-633-3327

<http://www.shiroki-ya.jp/> FAX 028-633-0792

**(株)本澤建築設計事務所**

<http://www.honzawa-net.co.jp/>

専務取締役 本澤 崇 (平成2年卒)

常務取締役 本澤 淳 (平成5年卒)

宇都宮市川田町1223-27 ☎028-645-0607

**株式会社 コスモ鋼業**

代表取締役 遠藤 盛 (昭和58年卒)

宇都宮市西刑部町2604 ☎028-656-7330

[s-endo@cosmo-kogyo.co.jp](mailto:s-endo@cosmo-kogyo.co.jp)

**昭和車輛(株)** (重機の修理・販売)

代表取締役 坂本 功樹 (昭和50年卒)

宇都宮市上大曾348 ☎028-624-8553



今年成人を迎えられる卒業生

情報科学部

# ご成人おめでとうございます。

成人おめでとうございます。成人とは心身とも成長して一人前の人間になることです。それは、「自由・権利」や「責任・義務」の拡大を意味します。

皆さんは、1年生の3月11日6時限の授業中に発生した、東日本大震災の恐怖や帰宅困難から、互いに助け合う事の大切さを学びました。今後も震災地に思いを馳せ、心の優しい思いやりのある人になって下さい。

そして、『若い時の苦勞は買ってでもせよ』と言われるように、この時期は今が楽しければ良いのではなく、今は少し苦しくても自らの将来への投資を心がけて下さい。

これからも不条理で理不尽なことなど、出会うであろう様々な困難に打ち勝ち、素晴らしい未来を築かれますことを心より願っています。

平成24年度 情報科学部 第3学年主任 木島 建二



平成24年度卒業時の第3学年担任の先生方

 HOTEL NEW ITAYA  
http://www.newitaya.com/

加納 優 (昭和39年卒) 原田 欣明 (昭和62年卒)  
福田 吉信 (平成6年卒) 白石 希 (平成20年卒)  
宇都宮市大通り2-4-6 TEL 028-635-5511



福宮建設株式会社(総合建設業)

専務取締役 福田 裕 (平成4年卒)  
宇都宮市鶴田町1462-1 TEL 028-648-7070(代)

北都電工株式会社

代表取締役 荒井 健次

常務取締役 荒井 博幸 (平成2年卒)

宇都宮市上野町6076番地15 TEL 028-662-1542 FAX 028-663-4112

金箱工設株式会社

代表取締役 金箱 忠司 (昭和46年卒)

宇都宮市雀宮町118-4 ☎028-653-6603  
info@kanebako.co.jp

うつのみやCSRまちづくり貢献企業





## 昨年度の進路状況

～国立大学(医・医)に4人(うち現役2人)合格!!《県内第3位の合格実績》  
 東北・横浜国立・千葉・埼玉などの国公立大に78人が合格  
 慶應義塾・早稲田・GMARCHレベル以上の難関私大に66人が合格～

平成26年度大学入試は、旧課程高校生が挑む最後の入試だったが、一般入試の志願状況は「理高文低」「地元志向」「資格志向」に大きな変化は見られなかった。新課程入試を翌年に控えていたが、受験生に極端な安全志向は感じられず、国公立大・私立大ともに、難関大学・医学科は堅調な人気だった。

本校の国公立大学受験結果は、合格者が78人(国立大学59人・公立大学19人)で、主な合格大学には山形大(医・医)2(いずれも現役)・長崎大(医・医)1・弘前大(医・医)1・東北大(法)1・(農)1・横浜国立大(教育人間科)1・千葉大(法経)2・(文)1・埼玉大(工)2・金沢大(人間社会)1・新潟大(法)1・(工)1・首都大東京(都市環境)1などが挙げられる。

県内トップ進学校の国公立大医学部の合格状況は、宇都宮高が国立18人・公立1人、宇都宮女子高が国立8人・公立0人であり、作新学院はこの2校に続いて、県内第3位の好成績を残すことができた。

また、地元の宇都宮大学には、国際学部2・教育学部4・工学部9・農学部2の計17人が合格を果たした。県内上位校の合格状況は、宇都宮女子21人、石橋20人、真岡18人、宇都宮北・栃木女子15人、栃木14人、大田原13人などであり、作新学院は県内4位となった。なお、過去3年間では作新学院から宇都宮大に52人が合格を果たしており、この数は石橋の61人に次ぎ、県内2位の好成績となっている。

一方、私立の主な合格大学としては、慶應義塾大2・早稲田大2・東京理科大8・ICU(国際基督教大)1・立教大3・明治大7・青山学院大7・中央大10・法政大19・学習院大1・立命館大5・津田塾大1・東京女子大1・日本女子大2・芝浦工業大11・明治学院大7・成蹊大2・武蔵大1・國學院大5・日本大26・東洋大14・駒澤大6・専修大6・東京医科大(医)1・久留米大(医)1・埼玉医科大(医)1・岩手医科大(医)1・日本大(歯)1・昭

和大(歯)1・日本歯科大(新潟歯)1・東京薬科大1・大阪薬科大1などが挙げられる。こうした合格状況に大きな評価をいただいた結果、平成27年度には204大学から1,311人分の指定校推薦枠をいただいている。

専門学校への進学は、社会情勢や流行の影響を受けやすい傾向にある。平成26年度入試でも県内専門学校への進学者が、県外専門学校の約2.3倍となり、「地元志向」が更に強まった。分野別では、男子は工業系・コンピュータ系、女子は医療・看護系・美容系・栄養調理系の希望者が多く、以前に人気を集めていたゲーム・アニメ・マンガなどの趣味的要素の強い分野は減少している。特に、医療・看護系の希望者は年々増加傾向にあり、公立や大学附属の看護専門学校は依然として難関で狭き門であった。

就職に関しては、平成26年度の求人企業数は、1,151社(前年比182社増)であった。リーマンショック後で高い水準となり、高校生側に有利な「売り手市場」に転じた。この傾向は、製造業の一部で業績が上向いていることや、建設業や医療・福祉分野での人手不足が背景にあると思われる。また、今まで採用を控えていた企業が新卒者採用を積極的に行ったことも求人が増えた一因であった。

学院では、就職指導に関して十分な時間と労力を注いでおり、各学年で行われたキャリアガイダンス、インターンシップによる就業体験、人事担当者および関係機関(ハローワーク、労政事務所など)による「企業が求める人材、求められる人材」などの就職講話、外部講師による「ビジネスマナー」の実施などが大いに生かされ、内定率アップに繋がった。

平成26年度の特徴としては「コミュニケーション能力に優れた者」「意欲の旺盛な者」「基礎学力の十分な者」が特に求められ、それに応えられた生徒が希望の企業に数多く就職を果たすことができた。こうした状況によって、3月末にはほぼ100%の内定率を達成することができた。

平成25年度卒業生 進路先

部	進路	卒業生	4年制大学	延べ合格者	短期大学	専門学校 (含む予備校)	就職・自営
		卒業生	卒業者	4年制大学	延べ合格者	短期大学	専門学校 (含む予備校)
英 進 部	男	121	86	227	0	34	1
	女	81	57	121	6	18	0
	総数	202	143	348	6	52	1
総合進学部	男	271	144	150	2	75	50
	女	174	57	58	28	64	25
	総数	445	201	208	30	139	75
情報科学部	男	238	44	47	1	79	114
	女	206	18	21	24	112	52
	総数	444	62	68	25	191	166
総 計	男	630	274	424	3	188	165
	女	461	132	200	58	194	77
	総数	1,091	406	624	61	382	242



運動部  
sports

# 硬式野球部 県勢史上初の4年連続出場!

水泳部榎本遼香選手各種大会にて大活躍、ゲートボール部・  
パワーリフティング部全国大会にて好成績

## 運動部

### 国際大会成績

〈水泳競技飛び込み〉

世界ジュニア選手権

総合進学部3年 榎本遼香

高飛込 5位

3mシンクロナイズド高飛込 7位

### 第96回高等学校野球選手権大会

〈硬式野球〉 県史上初4年連続出場



### 第69回国民体育大会 長崎がんばらば国体成績

〈水泳競技〉

総合進学部3年 薄井結花……400mメドレーリレー 優勝  
200mバタフライ 5位

〈弓道〉

総合進学部2年 中山知典 少年男子遠的団体 優勝  
少年男子近的団体 2位

総合進学部2年 伏見梨紗

総合進学部1年 西崎寧々 少年女子遠的団体 優勝

少年女子近的団体 4位

〈陸上競技〉

総合進学部3年 齋藤勇太 三段跳び 3位

### インターハイ・煌めく青春南関東総体2014

〈水泳競技飛び込み〉

学校対抗 2位

総合進学部3年 榎本遼香  
高飛込 優勝  
飛板飛込 2位  
シンクロナイズド  
3m飛板飛込  
優勝(公開競技)



〈柔道〉

総合進学部2年 伊澤星花 52kg級 3位

〈水泳競技〉

総合進学部3年 薄井結花 200mバタフライ 4位

〈弓道〉

5位 技能優秀校

高橋瑠奈(総3年)

永山陽子(総3年)

佐藤沙紀(総2年)

伏見梨紗(総2年)

尾崎麻子(総1年)

西崎寧々(総1年)



〈自転車競技〉

チームスプリント 8位 上川直紀(総3年)

中村魁斗(情3年) 小池千啓(情2年)

### 全国大会成績

〈ゲートボール〉 全国ジュニアゲートボール大会

女子1部クラス 2位

高橋優果(総1年)並河綾香(総1年)藤田結女(総1年)

渡邊珠生(総1年)

清水碧希(総1年)

男子1部クラス 3位

氏家隆詞(英3年)片柳尚記(英3年)築瀬望実(英3年)

中里優太(英3年)

松本天空(英3年)宇賀神直人(英1年)

男子1部クラス 3位

安達真吾(情2年)加藤剛(情2年)菊地翔太郎(情2年)

堀智耶(情2年)

半田雅樹(総2年)清嶋紀拓(英1年)酒澤梢太(英1年)

〈パワーリフティング〉全日本高等学校パワーリフティング選手権大会

英進部3年 花田 結衣 52kg級 優勝

総合進学部3年 小林 弘平 93kg級 4位

総合進学部2年 小野口雄俊 83kg級 4位

情報科学部2年 丸山こころ 52kg級 5位

総合進学部2年 齋藤 怜馬 93kg級 5位

総合進学部2年 山本 隼人 53kg級 5位

〈陸上競技〉日本ユース陸上競技選手権

総合進学部2年 高内 真壮 走り幅跳び 5位

〈水泳競技飛び込み〉日本選手権水泳競技大会

総合進学部3年 榎本遼香 高飛込 2位

1m飛板飛込 2位

3m飛板飛込 6位

〈水泳競技飛び込み〉室内選抜飛込競技大会

総合進学部3年 榎本遼香 高飛込 2位

シンクロナイズド3m飛板飛込 2位

3m飛板飛込 2位

〈水泳競技飛び込み〉JOCジュニアオリンピックカップ

夏季水泳競技大会

総合進学部3年 榎本遼香 高飛込 優勝

シンクロナイズド1m飛板飛込 優勝

3m飛板飛込 5位





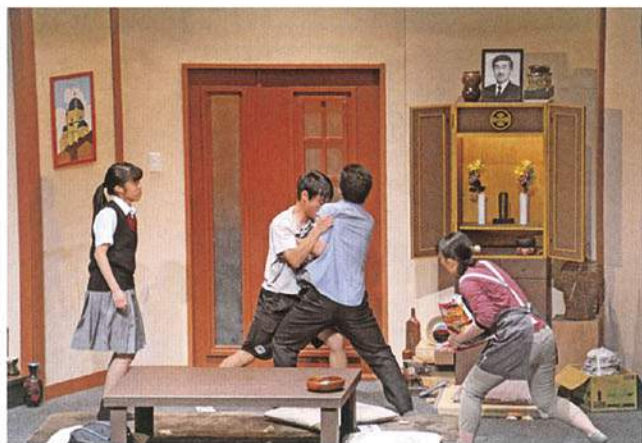
# 全国学生書写書道展において英進部3年 柴山舞子さん全書会特別大賞を受賞

吹奏楽部、日本管楽合奏コンテスト全国大会で3年連続最優秀賞を受賞

## 文化 部

### 演劇部

本学院の中でも古い歴史と伝統を持つ演劇部ですが、その実績も特筆されます。過去21年間で関東大会に17回出場し、そのうち4回は全国大会に出場しています。しかも、1回は全国優勝を果たし、他もすべてベスト5以内の入賞で、舞台美術賞・審査員特別賞などの賞も同時受賞しています。この実績は、関東はもとより全国でも屈指のものです。



第36回栃木県高等学校演劇研究大会

今年度も「家族の再興と廃部の危機に瀕した部活の再興」を心温まるタッチで描いた創作劇『発足！復興委員会』が栃木県大会で最優秀賞を受賞し、1月30日・2月1日に長野で開催される関東大会に出場が決定しています。

日頃の演劇部の活動の成果を是非ご覧になっていたいただけらと思います。

### 吹奏楽部

昨年11月2日に東京都すみだトリフォニーホールで行われた、第20回日本管楽合奏コンテスト全国大会に出場し、3年連続となる最優秀賞を受賞いたしました。また、9月に行われた東関東吹奏楽コンクールでの「金賞」受賞に続く快挙となりました。

本年度は夏の吹奏楽コンクールの自由曲としても使用した「ウインドオーケストラのためのマインドスケープ」を演奏しました。ホール中が美しいサウンドのシャワーになっているかのように響き渡りわたりました。至福と感動の時間を観客の方々と共有することができ、満席にうまった客席からは盛大な拍手をいただきました。

今年は5月30日にフレッシュグリーンコンサート、10月12日には節目となる第50回の定期演奏会が共に宇都宮市文化会館で行われます。ぜひご来場くださいますようお願い申し上げます。

### 美術部

第68回栃木県芸術祭美術展が、県立美術館で開催されました。美術部3年生が彫刻部門・工芸部門の2部門に出品しました。その結果、萩原穂乃香さん（情報科学部美術デザイン科3年）が彫刻部門で最高賞の芸術祭賞を受賞しました。県芸術祭は、県内各地から一般者、大学生が応募する県内最大の公募展です。作品「思考」は、銅板と銅線によってらせん状に構成され、うごめくような形状の大作、全体の動きやバランスをダイナミックに展開し伸び伸びとした作品に仕上がっています。

高校生が受賞する事は、至極稀なことであり、下野新聞に記事として取り上げられました。芸術祭賞作品

NETIS登録  
KT-100005 防草緑化挿し芽植栽工法  
株式会社 落合東光園  
代表取締役 落合 功 [昭和37年卒]  
事務所/河内郡上三川町川中子921 ☎0285-56-3751



(総合建設業)

末長建設株式会社

代表取締役 末長修一 (昭和57年卒)  
宇都宮市中央本町4-21 TEL 028-634-6675



インテリアール **アカノ**

高野博子 (昭和26年卒)

〒320-0058 宇都宮市上戸祭3丁目3の2  
電話 (028) 643-6231代 FAX (028) 624-7611

東野交通(株) (旅のことなら)

高梨義久 (平成3年卒)

宇都宮市平出工業団地19-8 ☎028-660-2441



をぜひ鑑賞したいと駆けつけていただいた一般の方々も多く、賞賛を浴びました。また、奨励賞を手塚あゆみさん(情報科学部美術デザイン科3年)が受賞しました。



の5文字が課題で、手本を見ないで20分で2枚の作品を仕上げ、1枚を提出しました。

今年度2月13日から15日まで、栃木県総合文化センター第4ギャラリーにて作新学院書道展を開催します。教職員や卒業生の作品を始め、2年生の超大作を発表します。15日15時より会場にて書道パフォーマンスを披露しますので、皆様のご来場を心よりお待ちしております。

### 写真部


昨年度の第35回栃木県高等学校総合文化祭写真展において、池田果穂(情報科学部平成26年3月卒)の「Nostalgic」と、栗原敦己(英進部3年生)「最高潮」の2作品が、ともにA部門自由作品の部の準特選に選ばれました。池田さんは、ガラス細工や人形細工など、アンティークな工芸品を素材に選んで4枚の組写真にまとめ、郷愁を誘う作品に仕上げたものです。栗原君の写真は、祭りで踊っている和装の女の子の一瞬をとらえ、題名通り祭り「最高潮」を感じさせる作品であります。

### 書道部

第49回高野山競書大会において、総合進学部2年櫻井雅さんが第5位にあたる全日本書道連盟賞を受賞しました。また、第38回全国学生書写書道展において、英進部3年柴山舞子さんが高校の部第5位にあたる全書会特別大賞を受賞しました。作品は「雨過一蟬噪」



栗原君の作品は、昨年2月の第20回関東地区高等学校写真展(神奈川大会)、7月の第38回全国高等学校総合文化祭(茨城大会)写真部門に出展。池田さんも関東大会出場を果たしました。

(総合建設業)  

**株式会社 新生工業**  
 代表取締役 櫻井 英治 (昭和57年卒)  
 宇都宮市徳次郎町46 ☎028-665-1502

**藤田勝春法律事務所**  
 弁護士 藤田 勝 春 (昭和35年卒)  
 宇都宮市清住 3-1-14 ☎028-625-3266

**日建工業株式会社**  
 代表取締役 吉川 泰行 (平成2年卒)  
 宇都宮市岩曾町179-4 ☎ 028-625-5021  
 FAX 028-625-7523  
 E-mail : yasuyuki@nikken-kogyo.jp

**太平産業開発(株)** (太陽光発電事業)  
 代表取締役 熊倉 正敏 (昭和35年卒)  
 宇都宮市上小倉町2616-1 ☎028-624-2156



## 作新学院 部活動 『優るとも劣らない』感動に、活躍が続出

# OB・OG会 活動

会長 川島 八郎 (昭和37年卒)

昭和37年3月・8月(春夏)の高校野球連覇は史上初の偉業でした。宇都宮市大通りで行なわれた凱旋パレードは、ひとりで溢れた熱狂した歓迎でした。その年に高等部を卒業した私は、その様相を目の当たりにして大感動を得たことを、若き頃の最大の思い出として、今でも脳裏に鮮明に焼き付いています。

近年、特に昨年はこの感動に“優るとも劣らない”活躍が続出しています。夏の甲子園に4年連続出場し、選手宣誓をして全国の多くの国民に感動を与えた主将中村幸一郎選手の硬式野球部。全国高校総体(インターハイ)水泳競技女子高飛び込みで3連覇を成し遂げた榎本 遼香選手等々がいます。(申し訳ありませんが、枚挙がありませんので他は省略させていただきます。)

部活動OB・OG会は、益々活躍を期して次のような活動をしています。

- 1 全国大会に出場・参加する部への支援
- 2 “おとなの作新祭”で、全国大会(文化部・運動部)にて優秀な成績を残した選手・部への表彰(豪華な花束贈呈など)
- 3 作新学院と同窓会とで、活動の一環として、部活動顧問の先生方から何か教示を

いただき有意義な会にするために、合同にて意見交換会を毎年定期的で開催している。

\*新しい活動として、2度目の栃木県開催が決定した国民体育大会での活躍。文化部門の躍進のための支援策などを考慮することも必須だと思います。

現役部員・OB・OGの皆さんへ  
 現役部員の活躍は、OB・OGの誇り！  
 OB・OGの成功は、部員の刺激となり相互効果を生みます。  
 前進は、大樹の陰に隠れては駄目・楽を求めぬ気持ちは持つのも駄目ですよ!!  
 お互いに頑張りましょう。

### 作新学院 親交会

会長 荒井 祥

宇都宮市一の沢1-1-41 ☎028-648-1811

### 金田商会

代表取締役 金田 眞麒(昭和35年卒)

宇都宮市松原1-5-5 ☎028-622-1846



## 作新経済同友会と作新学院同窓会との係わり

作新経済同友会 会長 坂本 昭 (昭和31年卒)

同窓会の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

130年前「神童」といわれ「作新英学校」の創立者である「船田兵吾先生」が掲げた建学の精神である「一校一家」の理念のもと、今日まで作新が発展されたのは云うまでもなく先生方をはじめ、関係各位のご尽力の賜物であると、同窓生の一人として感謝を申し上げます。

作新経済同友会は、作新学院のPTA及び同窓会の役員を歴任された方々が中心となり、同窓会の発展はもとより、異業種交流及び会員相互の親睦をはかることを目的として結成されました。とくに政治、経済、文化等に於いて、県の内外を問わず作新関係者で有能な人材を多数輩出しておりますが、その方々が充分活躍できる環境づくりのため、制約がある同窓会と連携をとり、優秀な同窓生を物心両面において、支援を続けてまいりたいと考えております。 \*ご入会等の連絡は事務局 ☎028-621-9083 三村 松司(昭和35年卒)

## 「三位一体の」の女子同窓会

女子同窓会 会長 福田 勝江 (昭和31年卒)

作新学院女子同窓会は、今は亡き船田小常先生の「きもいり」で創設され、2年に一度開催しております。創設後、約半世紀の時が流れておりますが、今現在も皆さまのご協力のもと、躍進を続けております。

「青春期の方々は未来を語り、壮年の方々は現在を語り、ご高齢の方々は過去を語る」とよく言われております。

この三代の方々が親しく交流し「三位一体」の作新学院女子同窓会が醸し出す「楽しい思い出」は、未来に羽ばたこうとする同窓会の方々の原動力となり、幸せな人生を送ろうとする方々の拠りどころになっていると思っております。

2年に一度開催されております作新学院女子同窓会を始め、作新学院同窓会が行う種々の催し物にも参加して頂きたくお願い申し上げます。なお、平成26年7月12日(土)にホテル丸治にて開催された作新学院女子同窓会におきましては、来賓として船田元先生・安藤寛樹会長をはじめ多数の方々のご臨席を賜り盛大に開催いたしました。

中でも、鈴木勲同窓会事務局長率いる「アロハ・レイ・アイランダーズ」の演奏も披露され、大いに盛り上がり素晴らしい会になったことをご報告させていただきます。

### 同窓会組織(執行役員)

会 長	安藤 寛樹(昭和45年卒)	幹 事 長	鈴木 勲(昭和38年卒)
副会長	三村 松司(昭和35年卒)	総務企画部 部長	小池 国夫(昭和45年卒)
〃	坂本 功樹(昭和50年卒)	組織財政部 部長	櫻井 英治(昭和57年卒)
〃	小牧 英夫(昭和56年卒)	広 報 部 部長	渡邊 幸雄(平成4年卒)
〃	青木 啓治(昭和48年卒)	文化厚生部 部長	遠藤 盛(昭和58年卒)
〃	渡辺 毅(昭和50年卒)	青 年 部 部長	安藤 篤史(平成8年卒)
〃	福田 勝江(昭和31年卒)		
〃	尾花 一浩(平成元年卒)		

<http://www.sakushin-ogob.gr.jp/>

E-mail:sakushin-dousokai@sakushin-ogob.gr.jp